

令和8年 6月19日

川崎市議会議長 原 典 之 様

中原区

等々力緑地を守る会

ほか 672名

等々力緑地フロンターレ公園の保全を求める陳情

陳 情 の 要 旨

等々力緑地にある、子どもたちの遊び場（フロンターレ公園）を残してください

陳 情 の 理 由

現在、等々力緑地では、大規模な再編整備が行われ、スポーツ施設や商業施設建設のため緑地全体が一大工事現場と化しています。現在あるフロンターレ公園は温浴施設予定地とされ、なくなってしまう計画です。

それに伴い、隣接するテニスコートは緑地北側に移設され、跡地は駐車場になる予定です。イチョウ、スギ、しだれ桜、椿、しだれ梅などの大きな樹木もかなりの本数が伐採されます。

近隣の保育園は園庭がないところがほとんどで、子どもたちは保育園から毎日歩いたり、カートに乗ったりして緑地にやってきます。着いて最初に遊べる好立地にあるフロンターレ公園は、場所的にとても貴重な遊び場となっています。

新しく予定されている、ふるさとの森北側の遊び場に着くまでにはとても時間がかかります。遊ぶには時間的にも、子どもたちの体力的にも難しく、完成しても利用が困難になるのは目に見えています。

また、みんなのはらっぱに予定されているインクルーシブ公園も、幼い子ども

もからお年寄りまで遊べると多様性をうたっていますが、そんな中で自由に遊べ、憩える公園になるのか疑問が残ります。はらっぱですから、木陰が少ないのも気になることです。

フロンターレ公園は、今、幼児から小学生など幅広い年代の子どもたちが放課後や休日に集まって思い思いに自由に遊んでいます。藤棚の下では保護者も一緒に休憩する姿がいつも見られ、憩いと休息の場として利用されています。

何より木陰があり、サッカーの試合の前にはお弁当を広げて食べたり、子どもたちが遊んだり、時間までのんびり過ごすのに最適な場所でもあり、広く市民に親しまれています。

再編整備により、等々力緑地の遊び場が少なくなってしまうのは事実です。子どもたちが思い切り遊ぶことができ、保護者も一緒にくつろげるフロンターレ公園をぜひ残していただくよう、切望します。